



早稻田大学 立川稻門会会報

2016年12月25日
第21号

発行 立川稻門会
事務局 立川市富士見町2-36-43
森山善弘
TEL 042-523-7601
FAX 042-523-7605
<http://tachikawa-tohmon.com>



第四十三回 定時総会

平成二十八年十月二十二日（土）午後五時三十分より、立川グランドホテルにて開催されました。

◎第一部 定時総会
森山善弘幹事長の司会で第一部・定時総会を行いました。小林和雄会長の開会挨拶、来賓紹介の後、小木曾夏樹業務幹事が議長に選出され、議事に入りました。以下の中題について各担当役員から説明があり、議題は全て承認されました。

議題1

平成27年度活動報告

議題2

平成27年度会計報告

議題3

平成27年度監査報告

議題4

平成28年度活動計画（案）

◎第二部 講演会
講師として朝日新聞東京本社スポーツ部記者・増田創至氏をお迎えし、「早稲田スポーツとリオ五輪」というテーマで講演をしていただきました。
(講演会の詳細は後述)

立川稻門会 平成29年度事業予定は以下の通りです。

新年会 平成29年1月14日（土）18時より立川グランドホテル
観桜会 平成29年4月1日 国営昭和記念公園（予定）
納涼パーティー 平成29年8月 場所未定
定時総会 平成29年10月 立川グランドホテル（予定）

部長、立川三田会（慶應大學）・大石敏雄会長、立川白門会（中央大学）・山崎省二支部長より、ご挨拶をいたいた後、丸本和代会計監査の乾杯で歓談が始まりました。その後、森山幹事長からの会員紹介（岩崎信夫さん、林邦明さん、原田宣昭さん）、立川三田会・長島昭久衆議院議員からのご挨拶、同好会紹介（ゴルフ愛好会、稲酔会、散策の会、立川稻門麻雀クラブ、談話サロン、立川早稻女会、平成組）等、挨拶・紹介が続き、最後は木村辰幸副会長の指揮の下、全員で校歌・都の西北を齊唱しました。

増田記者の講演を聴いて

講師は朝日新聞東京本社スポーツ部記者 増田創至氏。タイトルは「早稲田スポーツとリオ五輪」であった。

増田記者は「リオ五輪での取材現場」と「早稲田スポーツの現状と今後」についてご自身の体験も交え語られた。

リオ五輪では400mリレーの銀メダル受賞が期待されていない中、なぜ100M9秒台のいらない日本が受賞したかにはバトンの受け渡しに秘密があるようだ。又このレースにはOBコーチの方々が貢献した事にも触れられた。

この取材ではネットニュース全盛の中、活字で新聞の魅力をどのように伝えるかの点を話され、人物像とか苦労話でなくバトンリレー戦略をテーマとした経緯を述べられた。

一方早稲田スポーツの現状では五輪参加の早稲田アスリートが24名（含むパラ五輪）で特に女性の活躍が印象的のことではあったが早稲田スポーツの現状は厳しく、育成ばかりでなく選手の確保の難しさも指摘された。

箱根駅伝、野球とラクビーにも触れられ世界を目指す選手の輩出と2020年東京五輪に向けた早稲田スポーツ復活を予感出来る講演会であった。

増田氏プロフィール

1999年(H11年)3月法学部卒。同年4月朝日新聞入社。2007年に一年間の育児休業から復職後、主に陸上競技を担当。リオデジヤネイロ五輪(リオ五輪)を現地で取材。早大には、大阪府立茨木高から入学。競走部に所属し、箱根駅伝は3年時に9区、4年時に10区出場。今でも趣味でジョギングをする41歳のスポーツ記者。



★談話サロン

この会は平成24年7月に発足(市教育団体に登録済)し、稻門の皆さんの貴重な体験や趣味などについてうちとけた雰囲気の中で楽しむものです。人材豊富な稲田の気風にあらわれている様に、人生体験、その道の達人からのお話、ここだけしか聞けない裏話、その時々の身近な関心事などジャンルを問わない興味深いテーマを話題にしています。

- ・ 杉原千畝の世界
 - ・ 心のふるさと
 - ・ わが人生
 - ・ 老舗企業の再生奮闘記
 - ・ ボートで変わった、私の人生
- (世話人 広瀬俊夫)



★稻酔会

稻酔会は、平成9年に発足し、平成12年からは青梅線・五日市線沿線6市稻門会と合同稻酔会も行っており、11月5日の小澤酒造での合同稻酔会(青梅稻門会主管)で61回目を数えることになりました。

同好会活動を共に楽しみませんか！

稲酔会の行事としては、毎年4月の早慶レガッタ観戦、夏の納涼会、秋の合同稲酔会と年3回程の予定ですが、毎月、他稲門会のお酒の会（武藏野稲門会の3水会、国立稲門会の1木会、不動産稲酔会）にも出向き、地域稲門会の枠を超えた交流をしております。

来年2月には第62回目の稲酔会を行いますので、ご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

（世話人 長野長正）



現在は、各月第3水曜日（7月、8月は休み）里山、公園、河畔、湖畔をのんびりと歩いています。文化的な香りも残り、史跡、山や川、木々や花などを眺めて、

一回楽しく歩こうに変わりました。

その後、月2回は、会員の都合もあり、なかなか集まりにくくなつたので、月

一回楽し歩こうに変わりて続けてきました。

当初は月2回、自然と文化を愛するをテーマに、一回は、演劇、映画、演芸などの鑑賞、もう一回は、近郊の自然の中を歩く会として続けてきました。

★散策の会

平成16年4月、「立川古村めぐり」を第一歩として、散策の会が始まりました。

当初は月2回、自然と文

化を愛するをテーマに、一

回は、演劇、映画、演芸など

の鑑賞、もう一回は、近

郊の自然の中を歩く会とし

て続けてきました。

（世話人 長野長正）

（世話

ンペを実施してきたことになります。三多摩ゴルフ会などに参加したり、早慶戦を行ったりしたこともありますが、ここ数年は、ゴルフ愛好会として、春季・秋季の年2回コンペ開催が定着しています。

現在登録されているメンバーは21名です。コンペには16名前後が参加します。ダブルペリアのプレイを楽しんだ後、18時頃から立川駅界隈で表彰を兼ねて懇親会をしています。メンバーの小木曾夏樹氏の肝いりで有志が月1回のプライベートコンペを楽しんでいますが、平成25年2月グアムで26年1月チエンマイ、27年2月カンボジア、今年は1月台湾で…と海外でも7人前後でプレイしました。今年は、中村克久氏のつてで、門会・明大OBの方々と稲門会有志が八王子のゴルフ場で友好プレイをしました。今年秋季は11月29日にG M G八王子ゴルフ場でコンペを行いました。

ご興味のある方はお気軽にお連絡下さい。

(世話人 田村二葉)



今年度から、釣り同好会を発足します！当面は他稲門会の釣り倶楽部と一緒に、夏は白キスを、初冬にカワハギ釣りを行う予定です。白キスはアタリがはつきりしていて、ビギナーからベテランの方まで楽しめます。カワハギはエサ盗り名人と言われ、難しい釣りと思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、魚のいるとこに行けば必ず釣れます！ご興味のある方はお気軽にお連絡下さい。

(世話人 上野竜造)

★釣り同好会

同好会一覧

同好会名	代表者	連絡先	開催日・参加人数・場所等
談話サロン	広瀬 俊夫	042-531-2687	毎月第2火曜日(除く8月休) 2:00 pm~4:00 pm 参加費500円、先着20名様まで 立川市子ども未来センター(旧市役所跡) 会議室
散策の会	長谷川英夫	042-521-2624	毎月第3水曜日(但し7月8月は除く)
稻酔会	長野 長正 鷲海 量良	042-566-1033 042-527-6191	不定期(年3回程)
ゴルフ愛好会	田村 二葉	042-535-3878	不定期
駅伝同好会	鈴木 一廣	042-525-8611	
早稲田ラグビー を愛する会	大上 保	042-536-0940	
稻門釣り倶楽部	上野 竜造	042-843-8083	初夏(白キス)、初冬(カワハギ)、懇親会多数
若手の会	森山 善弘 社フェロー・ホームズ	042-843-8083	不定期
立川早稲田会	小林 章子	042-537-6149	不定期

小木曾 夏樹
(昭和35年政経)
妻に先立たれて十年が経つ。七年目ぐらいまでは多くの友人に支えられ何とか一人暮らしを続けてきたが、二年程前から家事雑用をこなすのが億劫になり、先々の暮らし方の決断を迫られた。一人で頑張るか、息子一家と同居するか、老人ホームに入居するかの「三者択一」である。どれを選ぶか



「高齢者マンションに
入居」雑感

身近な問題を会員の力で解決します！第一回目は「高齢者の住宅問題」です。お二人の先輩より経験を語って頂きます。

老人ホームに
入つて思うこと

特集

は経済的理由や自分が望む生活スタイルにより人それぞれであろう。私は「自由で誰にも迷惑を掛けない生き方」を望み、極く自然に老人ホームへの入居を決断、住み慣れた立川からそう遠くない自立型高齢者専用マンションへ一年半ほど前に転居した。入居一時金はマンションを売って用立て、その後の暮らし向きは是々非々と割り切った。

もう一つの決め手は「医療や介護ケア」が施設内で受けることが出来ることである。館内にはクリニックがあり、昼間は医師・夜間は看護師が常駐し、病気の一時的ケアスペースで面倒を見てくれ、要介護度が進んだ時は別棟の介護専用施設に移ることが出来る。肝心の食事は予約なしで三種類から選べて塩分控えめながら程々に美味しく、お酒の持ち込みも自由で夕食時に数人の飲み友達も出来た。お互いが干渉し過ぎず適当な距離感で過ごすことが出来、趣味や健康のサークル活動も盛んでコーラス・将棋・手芸・社交ダンスやフラダンス等など皆さんアク

ティブに生活をエンジョイされているし、定期的にクラシックやポピュラーの演奏会や一流歌手のライブも開催され楽ししてくれる。入居者は約二五〇人、1/4がご夫婦、1/4が男や女で、残りの半分が女性の一人暮らし、ここでも明らかに女性の長寿が実証されており、「男一匹」はここではやや影が薄い。何より有難いのは留守をするのに全く不便が無いこと、郵便や宅急便は受け取ってくれるし、外出して気掛りがあれば職員に電話をすれば対応をしててくれる。入居して二年弱、ゴルフや旅行で出掛けることが多い私にとっては極めて便利であり、幸いにも健康で誰にも迷惑を掛けずに生きており、ここへの入居に後悔はない。

しかし、近い将来に不安が無いわけではない。入居者の平均年齢は約八〇歳、加齢化の進行につれ現状の介護レベルが維持されるのか?また、民間企業である限り経営の安定性が持続されるかなどは未知数である。高齢化が急速に進行し、直

老人ホームに入居して



伊藤暢子
(昭和35年文)
(昭和50年文研)

二、便利な場所を選ぶこと

老人には、教養(今日用がある!)と教育(今日行くところがある!)が必要と言われるように、齡をとるほどに外に出かけることがあります。この為には、交通の便利な所を選びたいのです。便利な場所はホームの値段も高いでしょうが、今後の充実した生活を考える上で、頭に入れておきたいものです。

三、自立棟と介護棟は同じ敷地内又は、至近地が良い。近くにあれば、特に夫婦の場合、いつでも見舞いができます。自立棟で育んだ友人を見舞いに来てくれます。ホームによっては介護棟が遠く離れた場所にあるので、この点も注意したいことです。

高齢になって新たな場所に馴染むには時間がかかるし、又何かと問題点もある人たちに豊かで幸せな老後の世界が実現することを祈るしかないのだろう。

一、元の地域から余り離れていないこと

「老人介護施設を取り巻く現在の環境と今後の方向性」

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを豊かに続けるために。

森山善弘
(平成元年社会科学)
医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指しよ



うと国は動いています。

世界が注目する日本の介護保険制度は、2000年にそれまでの家族介護から、介護の社会化をするために誕生しました。残念ながら、昨今の状況は厳しい財政問題が課題となり、医療介護コストはより厳しく見直しされていることは、皆さまもご存じのことと思います。介護保険の利用はより重度の方を対象に限定され、軽度者は介護保険制度から外され、自己負担で、自己責任に応じてサービスを受益していくという、二極化が進んでいます。

この現状の中で、一市民が、高齢者を対象とした介護事業のサービスが今後どのように進化するのかを予測するのは、施設やサービスの多様化、選択が難しいのが現状です。

しかし、在宅介護事業では、世代にあわせた老後の生活スタイルをできるだけ質を維持しつつ長く続けるためには、住環境の改善・福祉用具機器・食生活のサポート・24時間の看護・介護体制など、多様な福祉サービスが生まれています。

世界が注目する日本の介護保険制度は、2000年にそれまでの家族介護から、介護の社会化をするために誕生しました。残念ながら、昨今の状況は厳しい財政問題が課題となり、医療介護コストはより厳しく見直しされていることは、皆さまもご存じのことと思います。介護保険の利用はより重度の方を対象に限定され、軽度者は介護保険制度から外され、自己負担で、自己責任に応じてサービスを受益していくという、二極化が進んでいます。

この現状の中でも、一市民が、高齢者を対象とした介護事業のサービスが今後どのように進化するのかを予測するのは、施設やサービスの多様化、選択が難しいのが現状です。

一方、地域で生き生きとしている方が地域住民としている方へ入会する、町内会との防災協定を締結し合同避難訓練を行う、地域の住民として商店街行事へ参加する等、機会あるごとに積極的に交流を図っております。機会があるごとに近隣住民の方と接し、一人でも多くの方と顔を知っている豊かで幸せな老後を作るた

めには、まずは、日常の生活において気楽に何でも相談できる地域での関係づくりを構築することが、自宅入所施設やショートステイ、デイサービスを中心とした地域の拠点作りが、進んでいます。いつでも利用できる日常の生活支援から、予防・介護・医療と包括的にサービスが用意されている、その安心感が、気持ちの余裕につながります。自宅での質の高い生活の継続が可能になります。

一方、地域で生き生きとした生活をするためには、元気なうちからの関係作りを図っていくことも大切なことではないでしょうか。私どもの施設でも、入居している方が地域住民としている方が地域住民としている方へ入会する、町内会との防災協定を締結し合同避難訓練を行う、地域の住民として商店街行事へ参加する等、機会あるごとに積極的に交流を図っております。機会があるごとに近隣住民の方と接し、一人でも多くの方と顔を知っている豊かで幸せな老後を作るた

「サービス付高齢者向け住宅」にサービスはついていない!?



上野竜造
(平成13年政経)
今後「超」高齢化社会を迎える我が国において、高齢者支援サービスを提供できる高齢者の住まいをいかに確保するかは、大きな課題の一つです。

ゆる「待機老人」に言われるよう、施設の数の不足もさることながら、持ち前の安心した生活に繋がつていくのではないか。高齢になつても尊厳が守られた生活ができるよう、いざという時には高齢者のための地域包括ケアの拠点を上手に活用し、さらに豊かな老後の生活を目指していただければ幸いです。

2011年の「高齢者住宅法」改正によって創設された「サービス付高齢者向け住宅」です。サービス付高齢者向け住宅とは、それまでの「高齢者向け有料賃貸住宅」制度や「高齢者円滑入居賃貸住宅」制度、「高齢者専用賃貸住宅」制度を一本化し、最低限のサービス（安否確認・生活相談）を義務付けたものです。

サービス付高齢者向け住宅のメリットとしては、①契約形態が、通常の賃貸借契約と同様であるため、初期費用が敷金・礼金程度で入居可能という点が挙げられます。また、②特別養護老人ホームなどと違い、要介護度の低い方でも積極的に入居者を受け入れてくれれる点もメリットと言えるでしょう。

一方デメリットは、メリットの裏返しとも言えるのですが、サービス付高齢者向

け住宅には最低限のサービス（安否確認・生活相談）しかついていないとも言えます。要介護度が高くなれば介護保険の利用限度額に収まらないため、介護サービスを利用料が高額になるケースがあります。また重度認知症などの場合には、住環境的に住み続けることが難しい場合があります。

自分自身の望むライフスタイルや予算、必要な介護サービスを見極めて選ぶ必要があると思います。



新会員紹介

★砂川直輝

(平成12年理工)



ムを身に纏つて野球に勤しんでおります。

立川稲門会のみなさま、はじめまして。平成12年理工学部卒の砂川と申します。

立川稲門会へは上野竜造さんのご紹介いただき、昨年入会させていただきました。現在は解体工事業、産廃処理業及び宅建業を生業としている株式会社ジャパン・リサイクル・システム(多摩市)という会社を経営しております。前職は株式会社NTTデータという会社でシステムエンジニアとして働いていたため、全く違う業界で奮闘中でございます。

立川稲門会以外では、職域稲門会である不動産稲門会にも所属しております。そちらでは野球部の一員として活動しており、憧れだったWASEDAのユニフォーム

東京での生活のほうが長くなっていますが、やはり沖縄に帰ると懐かしさを感じます。

立川稲門会入会以来、なかなか行事等に参加できずになりますが、今後は積極的に参加できるよう努めてまいります所存でございます。

立川稲門会のみなさま、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

立川稲門会入会以来、な

かなか行事等に参加できずになりますが、今後は積極

的に参加できるよう努めてまいります所存でございます。

立川稲門会入会以来、な

かなか行事等に参加できずになりますが、今後は積極

に参加できるよう努めて

いましたが、敵は卒業生がノーベル賞を受賞、わが高校の完敗が決まりました。

横浜で生まれ戦争が激しくなって、田圃ばかりの埼玉県加須市に疎開、明治12年創立で古さでは負けない不動岡高校の卒業です。当時川越高校と学力を争つて

いましたが、敵は卒業生が

ノーベル賞を受賞、わが高

校の完敗が決まりました。

1年浪人して憧れの早稲田

大学商学部に辛うじて入学、

あれもこれもやりたいと胸

を膨らませながら昭和31年

に卒業しました。

超就職難時代で何とか社

会人としてスタート。その

後、世は東京オリンピック

景気・石油ショック・バブル景気・長引く不景気へと

変遷し、夢と現実は大きく

懸け離れましたが楽しい人

生でした。

3年前に立川に介護の関係で、11回目の引越をしてきました。度重なる引越しの経験から「行く所、新しい発見がある」と信念を抱く様になりました。今はパ

ソコン・ウクレレを習い、

少しだけ多くの方と語り、

楽しい人生が送れるよう努めています。

新参者ですが、どうぞ宜しくお付き合いお願い致し

ます。

★田辺泰夫

(昭和31年商)



晴れた日には多摩川堤を散歩しています。趣味はお城巡りと落語や安いコンサートに行くなど、また気が向んでおりります。

周囲の方々からよく「立

川の出身ですか?」と問わ

れることがありますが、生

まれは沖縄県那覇市で、今

話題の普天間飛行場近くで

幼少期を過ごしました。小

学6年生で上京したため、

東京での生活のほうが長くなっていますが、やはり

沖縄に帰ると懐かしさを覺えます。

立川稲門会入会以来、な

かなか行事等に参加できずなりますが、今後は積極

に参加できるよう努めて

まいります所存でございます。

立川稲門会のみなさま、

ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

立川稲門会入会以来、な

かなか行事等に参加できずなりますが、今後は積極

に参加できるよう努めて

まいります所存でございます。

立川稲門会入会以来、な

かなか行事等に参加できずなりますが、今後は積極

に参加できるよう努めて

★上野要平

（平成24年社会科学）



このたび立川稲門会に入会させて頂きました上野要平と申します。昭和63年に生まれ、社会科学部を平成19年4月に入学し、1年留年して平成24年3月に卒業しました。高校時代は自宅のある日野から河合塾の隣の学習塾へ通い、現在は高松町に勤務先があります。普段の生活では早稲田大学を肌身に感じる機会は少なかつたのですが、こうして地元で稲門会に入れて頂けることを大変光栄に思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

私がとつて早稲田大学は「ご縁」を受け止めさせてくれる存在であります。入学前、在学中とも、恥ずかしながら母校に対して特段思い入れはありませんでしたらが、思い当たることが数々

★ 鎌田 健吾

(平成13年政経)



私にとって早稲田大学は「ご縁」を受け止めさせてくれる存在であります。入学前、在学中とも、恥ずかしながら母校に対して特段思い入れはありませんでしたが、思い当たることが数々

して平成24年3月に卒業しました。高校時代は自宅のある日野から河合塾の隣の学習塾へ通い、現在は高松町に勤務先があります。普段の生活では早稲田大学を肌身に感じる機会は少なかつたのですが、こうして地元で稻門会に入れて頂けるこ

いずれも私と早稲田を論理的に結びつけるものではあります。しかし、この「ご縁」を大切にする心を育んでくれたのは、まさしく早稲田大学です。これからも頂いたご縁を大切に生きて参ります。

いずれも私と早稲田を論理的に結びつけるものではあります。しかし、「ご縁」を大切にする心を育んでくれたのは、まさしく早稲田大学です。これからも頂いたご縁を大切に生きて参ります。

心のふるさと、われらが母校。

歳の娘と三人で実家にもどり、同時に立川で税理士事務所を開業しました。

自宅兼事務所のため、仕事の手が空いたときには子供と遊んだり、秋には新潟県魚沼市の妻の実家の田んぼの稲刈りをしたりと充実した時間を過ごしています。

でした。結局受験したのも早稲田の五学部のみです。また、私の生まれた昭和63年は竹下登首相の在任中で、入学した平成19年は東京専門学校創立125周年の年でありました。

あるのです。受験生の頃は何故か早稲田の過去問ばかりを練習問題にしていましたし、受験指導で特にお世話になつた先生も早稲田の出身で、その先生からの褒め言葉はどういうわけか「6年前は又骨精神がある」と

大学卒業後旅行会社に就職し、しばらくは高松町の実家で暮らしていましたが、監査法人に就職してからは約8年間埼玉県さいたま市内や豊島区巣鴨を転々としていました。

★壽台順誠

昭和56年文

じゅだいじゅんせい
寿台順誠と申します。

1957年、名古屋に生まれ、1976年に第一文学部に入学、1981年に卒業しました（ドイツ文学専攻）。その後、様々な事柄を経て、2011年に改めて大学院人間科学科に改めて大学院へ進みます。

そういう旧姓を通称として使用しておりますので、稻門会でも通称で通させていた
だきたいと存じます。

それでは、今後、何卒よろ
しくお願ひ申し上げます。

寄稿して下さった皆様、誠に有難うございました。

今年は年二回会報を発行したいと思います。特集では、身近な問題や疑問に取り組んで参ります。会員の方の知恵や経験を持ち寄り解決の手助けになれば良いと思います。新規同好会の立ち上げ、大歓迎です。お気軽にご連絡下さい。同好会の活動内容は、公式HPやフェイスブック「立川稻門会」で随時更新いたします。

A highly ornate, gold-colored portable shrine (mikoshi) decorated with intricate carvings and fabrics, resting on a decorated platform.

編集後記

寄稿して下さった皆様、誠に有難うございました。

今年は年二回会報を発行したいと思います。特集では、身近な問題や疑問に取り組んで参ります。会員の方の知恵や経験を持ち寄り解決の手助けになれば良いと思います。新規同好会の立ち上げ、大歓迎です。お気軽にご連絡下さい。同好会の活動内容は、公式HPやフェイスブック「立川稻門会」で随時更新いたします。

A highly ornate, gold-colored portable shrine (mikoshi) decorated with intricate carvings and fabrics, resting on a decorated platform.

「立川稲門会」公式フェイスブックはじめました。

そこで、早稲田大学との関わりも随分長くなりましたが、今更ながらという感じもしますが、稻門会に入会させていただくことに致